

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	平成30年度 第3回加東市健康増進計画等策定委員会
開催日時	平成31年2月19日(火) 13時30分から14時25分まで
開催場所	加東市役所2階 保健センター 健康教育室1
委員長の氏名 (岡本 希)	
出席委員の氏名	坂本泰三 藤井信一 森裏律子 山本貞江 武中千鶴子 古田照代 近澤孝則 増田一貴 浅田恵美 岡本 希 林山晃子 藤本しげる
欠席委員の氏名	藤木宗夫
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	健康福祉部長 丸山芳泰 健康課 課長 細川公代 副課長 高井玲子 係長 下崎ユカ 係長 櫛原ひろみ
1 開会	事務局より定足数の確認を行い、本策定委員会が成立することを報告した。 第3回策定委員会の議事録署名人を、山本委員と武中委員に決定した。
2 委員長あいさつ	
3 議事	(1) パブリックコメントについて 事務局から意見の提出はなかった旨の報告を行った。 (2) 加東市自殺対策計画答申案について 事務局から追加・修正箇所を説明し、後日、委員長から市長へ答申する。 (3) 加東市健康増進計画策定のためのアンケート調査の調査結果報告について 調査結果について説明し、質疑応答を行った。
【質疑応答】	
<u>加東市自殺対策計画答申案について</u>	
委員長：P13、14、15グラフの読みとり、解釈、説明について追加されてわかりやすくなった。後半に社協を追加されている。	
委員：P26児童生徒のSOSの出し方に関する教育の保護者向けの事業に、健康課と	

学校教育課が担当となっているが、教育委員会とは連携はどうなっているのか。

事務局：健康課は、学校教育課を通じて保護者へ啓発していく。個別ケースは各学校から学校教育課を通じて連絡を受けて対応をしている。教育委員会の中に学校教育課があり担当課となっている。

加東市健康増進計画策定のためのアンケート調査 調査結果報告について

委員長：P75の歯科健診受診率について、問56の「定期的に健診を受けていますか」のところ、半数以上が定期的に受診できていることは良い方ではないか。特定健診やがん検診の受診率は、他市と比べてどうか。

事務局：がん検診の受診率についてはH29年度分の県の取りまとめによると、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん検診については県平均よりも加東市は高い。子宮頸がん検診は県平均よりも低い。全国的に受診率の目標とされているところが高い数値になるので、そのレベルには達していない。特定健診の受診率は市で実施しているH30年度の国保分のデータ（H31年1月末現在）になるが、39%で目標としている40%にはわずかに及んでいない。

委員：かかりつけ歯科医がかかりつけ医より数値的に多いので驚いた。内科や小児科のほうが決めている方が多いと思った。

委員長：P80の問60で「メタボリックシンドロームという言葉や意味を知っていますか」の質問を入れたということで、成人用のアンケート調査に入れることも啓発につながるのでもいい質問だった。8割以上が言葉も意味も知っているというのはかなり浸透しているのではないか。65歳以上になるとよく使われるロコモティブシンドローム、フレイル、低栄養などの言葉も浸透していくと良いと思う。

6歳未満の調査では、スマホについて聞いているが、小学生の睡眠時間が30分程度減っているという学校保健分野の調査結果もある。この結果を踏まえて、子どもの睡眠時間について盛り込むのはどうか。

事務局：睡眠時間をどう関連させて盛り込むかというのは今後のことになるが、低年齢からスマホを触る機会を与えているのではないかという実態を把握したいのと、乳幼児健診等での待ち時間に保護者の時間潰しや子どもの機嫌取りに使われているのであれば、スマホだけではない方法を健康課でも進めていく必要があるのではないかと思います。

委員：子どもの歯の健康について、問33-1の幼稚園・保育所で義務的に歯科検診を受けているのか。43.8%と半分に満たないのは。

事務局：1歳以上の子どもについての回答であり、まだ保育所等に入られてない方、プラ

ス回答の時期によって行かれてない方も数字を含んでいるため。乳幼児健診（1歳6か月、3歳）では98%の方は歯科健診を受けている。

委員：幼稚園、保育所に通われている方は全員（3歳、4歳、5歳）年に1回は受けている。欠席の児についても医院へ来てもらい受けている児も多い。乳幼児健診でも診ているので、それ以外の間に入る方が受けていないと言われているのではないか。

委員：生え変わった後の歯並びについても大切だと思うが、健診はないのか。

委員：それも含めて健診で診ている。心配な場合は、かかりつけ歯科医に診てもらいたい。

委員：メタボの話が出ていたが、成人だけの話ではない。生まれた時から動脈硬化が始まっている。小学生で肥満傾向の方は30歳ぐらいになっても動脈硬化が進んでいる。先ほどの特定健診の受診率は、加東市は北播磨の中では一番良い。色々対策をしているので良いのではないか。がん検診でも兵庫県の平均でも良いとのことだが、兵庫県は全国でもがん検診の受診率が低い。知事からも力も入れて欲しいと言われている。将来的には、胃部検診での胃カメラでの検診や、肺がん検診もレントゲンだけでなくCTでの検診を勧められると思うが、検診のため費用や検診場所の確保に課題がある。P81の問61について、国保や社保に分けたデータはないのか。

事務局：保険についての質問をしていないので種別はわからない。ただ、職場で受けた方が多いので、社保の方が多かったのではないかと予想はできる。

委員：基本健診・特定健診の区別がわからない方もいると思うが、まちぐるみ健診を受けたら特定健診を受けたことになるのか。

事務局：基本健診を受けたら特定健診（40歳以上）を受けたことになる。基本健診と特定健診は市側が40歳で区切っている。

委員：腹囲は全員測っているのか。

事務局：75歳未満は全員測っている。

委員長：他に意見はないですか。

委員長：食育の質問項目も聞かれています。今学校保健分野では食育と睡眠が重要と言われている。小学生でスマホをダラダラ使い、夜更かしして朝は食欲がなく朝食が食べられないこともあり、眠育も必要と言われている。食育の項目は成人のアンケート項目もあるが、中学生の子を持つ親の調査で食事中に父親がスマホをしているのを娘が嫌がり、母親がスマホをしているのを息子が嫌がるというデータがある。スマホをダラダラ使用することは睡眠や食育に対して良くなく、今後その辺り

に施策を考えていただけると良いと思います。

他に意見等はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長：それでは、質疑がないようですので、本日の議事を終了します。

(3) その他


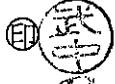
第4回策定委員会 2019年6月から7月頃に予定

4月以降の加東市自殺対策計画の冊子を送付時に日程調整を依頼する。

【閉会】

副委員長閉会の言葉

平成31年3月28日

委員長 岡本 希 
署名人 武中千鶴子 
署名人 山本 身江 